

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	イソクラテスの「φελοςσοφ#α」
Author(s)	中西, 捷渡
Citation	プロピレア , 28 : 49 - 49
Issue Date	2022-12-30
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00053435
Right	Copyright (c) 2022 日本ギリシア語ギリシア文学会
Relation	



イソクラテスの「φιλοσοφία」

中西 捷渡

広島大学大学院人間社会科学研究所 博士課程後期

本発表では、古典期アテナイにおいてソフィスト思潮へのカウンターとして起こった「φιλοσοφία」擁立運動の中で、弁論術教育家イソクラテスがどのような営みとして「φιλοσοφία」を構想し、擁護したのかを考察した。

本発表では、まず、「φιλοσοφία」擁立運動の背景としてのソフィスト思潮をプラトンの対話篇に基づいて概観し、ソフィスト思潮の動向を、次第に道徳的関心を失って弁論能力の訓練を偏重していくものとして整理し、プラトンによる理性的・反省的な営みとしての「φιλοσοφία」理解をこのような時代状況へのカウンターとして位置づけた。

次に、イソクラテスの構想した「φιλοσοφία」の特徴を、晩年の大作『アンティドシス』に基づいて描きだした。イソクラテスが求める知恵とは、「ドクサ」を活用して「好機」を掴み大抵の状況で物事をうまく運ぶ「思慮」である。そして、その獲得に向けた営みである「φιλοσοφία」の核心は、思慮を表現する手段である言語運用能力の訓練にある。思慮が言語、とりわけ弁論を通して表現されるとすれば、弁論を適切な型に従って有効に組み立てることで、その主題に関して考慮すべき事項を知ることができ、主題についての透徹した理解が養われれば、より強力な弁論を展開できるようになるからである。また、イソクラテスの「φιλοσοφία」は、弁論の技術だけでなく優れた道徳性も授ける。というのも、「φιλοσοφία」に求められる資質は市民的卓越性への熱意であり、その卓越性は弁論を介して達成される。そして、弁論の成功には、個別の弁論の説得力だけでなく、弁論家本人の人格に対する信頼が不可欠だからである。

最後に、『ソフィストを駁す』に基づいて、イソクラテスによるライバル批判の論点を図式化した。ここでは特に「学者型ソフィスト」に対する批判が重要である。なぜなら、厳密性・普遍性・必然性を重視する彼らの「φιλοσοφία」との対立が、哲学の正史とイソクラテスの接点となるからである。